

明日の京都

文化遺産プラットフォーム



2013年9月12日

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

明日の京都 文化遺産プラットフォーム
立命館大学

第3回フォーラム 京都の景観を考える 「むかし、京都には町なみがありました。いま？」開催のご案内

明日の京都 文化遺産プラットフォーム（事務局：立命館大学）は、第3回フォーラム 京都の景観を考える「むかし、京都には町なみがありました。いま？」を開催いたします。

世界遺産のまち・京都は、平成19年9月、歴史都市の優れた景観を守り、未来へと引き継いでいくため、建物の高さやデザイン、屋外広告物の規制等を全面的に見直した「新景観政策」を実施しました。現在、歴史と文化に満ちた京都のまちなみ景観を守るため、屋外広告物の適正化を進めるなど、取組を強力に進めています。来年は「古都京都の文化財」が世界文化遺産に登録されて20年目の節目の年でもあります。

それらをふまえ、3回目を迎える本フォーラムは、人類共通の財産である世界遺産をはじめとする、京都の文化財や伝統文化について、府民、市民が学び、未来へ引継ぐ必要性とその方策について考える機会として開催します。

記

日時：2013年10月20日(日) 13:00～16:00 (受付開始 12:10)

場所：立命館大学朱雀キャンパス 5階ホール

プログラム：(以下、全て敬称略)

基調講演：山折 哲雄(宗教学者)

演奏：藤舎 名生(横笛演奏家)

パネルディスカッション：

門川 大作(京都市長)

森本 幸裕(京都学園大学教授)

山折 哲雄(宗教学者)

松浦 晃一郎(前ユネスコ事務局長)*コーディネーター

参加費：無料

申込：事前申込制。定員430名。応募者多数の場合は抽選。

FAX またはメール、ハガキにてお申し込みください。【応募締切：10月9日(水)】

*「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」は、京都の世界文化遺産を中心とした有形の文化遺産、伝統文化、伝統芸能・伝統産業、神社仏閣、研究者、大学、市民等が連携し、京都に在る有形・無形の文化遺産の保存と継承に向けた包括的なネットワーク組織。2010年10月21日設立。会長 松浦晃一郎(前ユネスコ事務局長)。

ご取材・内容についてのお問い合わせ先

「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」事務局(立命館大学社会連携課内) 担当：大前

TEL. 075-813-8166 FAX. 075-813-8167 e-mail. info@tomorrows-kyoto.jp

立命館大学広報課 担当：岡本 TEL. 075-813-8300 FAX. 075-813-8167